

2020年1月22日現在

年末年始の本船荷役実績の傾向等について (2019.12.31~2020.1.4)

1. 昨年との比較

		昨年	
◦年末年始荷役実施港	53港	(63港)	
◦荷役隻数 (外航・内航の合計)	672隻	(923隻)	251隻減
内訳			
コンテナ船	234隻	(277隻)	43隻減
RORO船	40	(58)	18隻減
自動車専用船	2	(3)	1隻減
在来船	230	(367)	137隻減
その他船	166	(218)	52隻減

2. 傾向

- 全国的に昨年の水準を大きく下回っている。各日別にみてもそれぞれで減少しており、特に土曜日であった1月4日の減少が目立っている。
- 船型別では、全体的に減少しているが、在来船の減少が顕著である。

3. 外航コンテナ船取扱個数の比較

- 外航コンテナ船取扱個数の合計では、今年は「234隻 101,035TEU」であり、昨年の「267隻 116,895TEU」より「33隻 15,860TEU」減少している。
- 主要港では合計の隻数、取扱個数は減少しているが、横浜港・川崎港・名古屋港・神戸港・関門港では隻数や取扱個数等で増加している。

2019年12月31日～2020年1月4日の本船荷役実績

(隻)

区分		コンテナ船	その他 〔RORO、自動車〕 〔在来船、その他〕	合計
主 要 港	東京	35 (40)	7 (6)	42 (46)
	横浜	35 (36)	3 (7)	38 (43)
	川崎	4 (3)	16 (22)	20 (25)
	名古屋	28 (29)	11 (21)	39 (50)
	大阪	24 (38)	49 (54)	73 (92)
	神戸	33 (40)	6 (8)	39 (48)
	関門	15 (11)	14 (39)	29 (50)
	6大港計	174 (197)	106 (157)	280 (354)
そ の 他 主 要 港	千葉	0 (1)	22 (41)	22 (42)
	清水	6 (8)	2 (4)	8 (12)
	四日市	6 (5)	5 (3)	11 (8)
	博多	13 (15)	7 (10)	20 (25)
	その他主要港計	25 (29)	36 (58)	61 (87)
11港計		199 (226)	142 (215)	341 (441)
その他の港湾 (42港)		35 (51)	296 (431)	331 (482)
合計 (53港)		234 (277)	438 (646)	672 (923)

注) 1. ()内の数値については昨年実績
 2. 数値は、外航船、内航船の合計値